「偶然から考えさせられたこと」

３年　S.I

先日、私は母と電車で出かけました。いつものように電車からホームへ降りると、「東京メトロ銀座線は人身事故のため運行を停止しております。」というアナウンスが流れました。その時は呑気に人身事故かと思い、用事を済ませ、また家へ帰りました。

家へ帰り、人身事故のことも忘れテレビを見ているととんでもないニュースが流れてきました。それは、さっきの人身事故のニュースだったのです。そしてさらに私を驚かせたのは、ホームから転落した方が目が不自由で盲導犬をつれて生活していたということです。それから、事故の詳細が知りたくなりネットで調べることにしました。ウェブサイトで詳しいことを見ているとツイッターのつぶやきが見られる項目があり、見知らぬ人のものをいくつか見ていると一つ、目にとまるものがありました。そして、そのつぶやきには、「人身事故のせいで電車が止まっている、最悪だ。」と書かれてあり、止まっている電車の写真と線路を必死に見る駅員、ホームに残された盲導犬が載せてありました。投稿した人は、状況を知らず、ただみんなに「今、電車が止まっていて身動きがとれない。」ということを伝えたかったのかもしれません。しかし、事実を知った私から見たら「人身事故のせいで。」という表現などにすごくイライラさせられました。でも、それと同時に私もこのようなことをしたことがあると思わざるを得ませんでした。なぜなら私も、友人との待ち合わせに人身事故で遅れてしまったことがあったからです。他人からしたら、人身事故でも何でも止まれば迷惑です。けれども、人身事故によって命を落とされた方や、その親族にとっては「迷惑」という言葉では当然済まされない程の苦しみがあります。ですから、これからはたとえ知らない方だとしても人のことを思って行動していけると良いと思います。

そして、私にはこの事故を通してもう一つ感じたことがあります。それは、「目の見えない方」というところでした。みなさんは、今突然目隠しをされ、このままずっと目が見えない生活を一日でも送れますか。私には無理です。もし私がそうなったらきっと、怖くて外へ出られなくなると思います。だから、体の不自由な方は私たちより何倍も強い心と勇気を持っているのではないかと感じさせられました。

今回の転落事故はホームドアがない場所で起こりました。一旦起こってしまった以上、とりかえしはつかないけれど、これを機に政府が安全対策を見直してくれたらよりよい社会になっていくのではないでしょうか。口では言えても、実際はコストなどたくさんの問題が出てくると思います。ですから、これからの若者はこういった問題から目を背けずに、しっかりと考えていかなければなりません。２０２０年には東京オリンピックがあります。まだあと４年もありますが、４年は本当にあっという間です。この４年間で私たち若者世代がどのように動くかでこれからの未来は変わってくると思います。だからこそ、私は今の政治に少しでも興味を持ち、しっかりと自分の意見をもつ人になりたいです。自分の大切な人はもちろん、知らない人でも事故で亡くなる方や、そのことで悲しむ人が少なくなるといいな思いとこの感話を書きました。そして、将来は人の役に立つ、人に喜ばれる職

に就きたいと思っています。